

第三四期佐伯市地域福祉計画策定のための市民アンケート調査

佐伯市の地域福祉について
皆様の御意見をお聞かせください

市民の皆様には日ごろから福祉行政に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、市政運営の基本的な方針を示した第一次佐伯市総合計画に基づき、みんなが安心して暮らせるまちをつくるため、佐伯市地域福祉計画(地域福祉の推進に関する事項を一体的に定める計画)を策定し、計画的に福祉施策を推進しています。

現在の「~~第三三期~~佐伯市地域福祉計画(平成26～30(2019～2023)年度)」の計画期間終了を控え、「~~第三四期~~佐伯市地域福祉計画(平成31～35(令和6～10)年度)」を策定することとなりました。

このアンケートは、18歳以上の市民3,000人を無作為抽出により選び、皆様の福祉に対する意識や考え方などを把握するとともに、広く御意見をお聴きし、この計画に取り入れ、今後の本市の福祉行政を推進するための貴重な資料とすることを目的に実施するものです。

御記入いただいた調査票は全て統計的に処理し、本調査以外の目的に使用することはありません。~~なお、このアンケートは、第二期佐伯市地域福祉計画策定時にも実施しており、前回(5年前)と比較するため、原則、設問内容は変更しておりません。~~

御多忙とは存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、御回答くださいますようお願い申し上げます。

平成29(令和4)年10月16日

佐伯市

～御記入に当たってのお願い～

1. 御記入は、鉛筆またはボールペン、万年筆でお願いします。
2. 御回答は、あなたが思われるものの番号に○印をつけてください。質問によって、「1つだけ」「3つまで」「いくつでも」等ありますので御注意ください。
3. 「その他()」のように、具体的な意見を記入していただく場合や、感じていること等を自由に記入していただく質問があります。御面倒ですが御協力をお願いします。
4. アンケート用紙、返信用封筒に、あなたの住所や氏名を記入する必要はございません。
5. 回答後のアンケート用紙は、同封した返信用封筒(切手不要)に入れて、**11月10日(木)**までに御投函ください。
6. アンケートについて、御質問等ございましたら、下記までお問い合わせください。



あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別は、どちらですか。

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 回答しない |
|------|------|---------|

問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 18～29歳 | 4 50～59歳 | 7 80～89歳 |
| 2 30～39歳 | 5 60～69歳 | 8 90歳以上 |
| 3 40～49歳 | 6 70～79歳 | |

問3 あなたのお住まいになっている地区は、次のうちどちらですか。

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 1 佐伯 | 2 渡町台 | 3 佐伯東 | 4 上堅田 | 5 鶴岡 |
| 6 大入島 | 7 八幡 | 8 西上浦 | 9 下堅田 | 10 青山 |
| 11 木立 | 12 上浦 | 13 弥生 | 14 本匠 | 15 宇目 |
| 16 直川 | 17 鶴見 | 18 米水津 | 19 蒲江 | |

問4 現在お住まいになっている場所の居住年数は次のうちどれですか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 2年未満 | 4 10年～20年未満 |
| 2 2年～5年未満 | 5 20年以上 |
| 3 5年～10年未満 | |



地域の交流・ふれあいの促進についておたずねします

問5 あなたと近所の人との関係は次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 仲が良く、家族同様な付き合い | 5 あいさつをする程度の付き合い |
| 2 困った時にお互いに助け合う付き合い | 6 ほとんど付き合いがない |
| 3 普段から気兼ねなく声を掛け合う付き合い | 7 その他 () |
| 4 たまに立ち話をする程度の付き合い | |

問6 あなたは今後、近所の人との関係がどのような状態になればよいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 仲が良く、家族同様な付き合い | 5 あいさつをする程度の付き合い |
| 2 困った時にお互いに助け合う付き合い | 6 ほとんど付き合いがない |
| 3 普段から気兼ねなく声を掛け合う付き合い | 7 その他 () |
| 4 たまに立ち話をする程度の付き合い | |

問7 あなたは日ごろ、生活をする上でどのような心配事がありますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 配偶者に先立たれること |
| 2 話し合いや助け合いのできる人がいなくなって淋しいこと |
| 3 住民相互のまとまりや助け合いが乏しいこと |
| 4 地域で住民同士が気軽に集える機会や場所が少ないこと |
| 5 子育て世代同士が気軽に集える機会や場所が少ないこと |
| 6 子どもが安心して遊べる場所が少ないこと |
| 7 働く親の条件にあった保育所(休日保育、延長保育、一時保育など)や学童保育が少ないこと |
| 8 障がい者(児)のいる世帯に対する周囲の理解や交流が少ないこと |
| 9 暮らしや福祉、健康に関する相談窓口や支援が少ないこと |
| 10 若者の地域離れによる過疎化のこと |
| 11 特にない |
| 12 その他 () |



ボランティア活動等についておたずねします

※ボランティア活動、地域福祉活動とは・・・地域の清掃活動等への参加や困っている人のお手伝いなど、自分が住んでいる地域や人に対し、より住みやすくするために見返り(報酬・お金)を求めずに行う活動のこと。

問 1 0 あなたは、日ごろの生活の中で、地域の人やボランティアにしてほしいことや手伝ってほしいことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 話し相手や相談相手 | 8 通院・通学等の送迎 |
| 2 安否確認の声かけ | 9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ |
| 3 買い物の手伝いや代行 | 1 0 子どもの登下校時の見守り |
| 4 ゴミ出し | 1 1 災害時の避難支援 |
| 5 外出時の付添い・介助 | 1 2 特にない |
| 6 そうじ・せんたく・食事等の家事 | 1 3 その他 () |
| 7 短時間の子どもの預かり | |

問 1 1 あなたが、高齢者や障がい者、子どもがいる世帯に対して、協力できることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 話し相手や相談相手 | 8 通院・通学等の送迎 |
| 2 安否確認の声かけ | 9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ |
| 3 買い物の手伝いや代行 | 1 0 子どもの登下校時の見守り |
| 4 ゴミ出し | 1 1 災害時の避難支援 |
| 5 外出時の付添い・介助 | 1 2 特にない |
| 6 そうじ・せんたく・食事等の家事 | 1 3 その他 () |
| 7 短時間の子どもの預かり | |

問 1 3 問 12 で「2 行っていない」と答えた方におたずねします。ボランティア活動や地域福祉活動に参加する際に苦勞すること、又は参加できない理由はどのようなことですか。（○はいくつでも）

- | | |
|----|---|
| 1 | 仕事や子育て等が忙しく活動する時間がない |
| 2 | 身近に団体や活動内容に関する情報がない |
| 3 | 参加するきっかけがない |
| 4 | 身近に参加したいと思う適当な活動や共感する団体がない |
| 5 | 身近に一緒に参加できる適当な人がいない |
| 6 | 家族や職場の理解が得られない |
| 7 | 全く興味がわからない |
| 8 | 活動によって得られるメリット（利点）が期待できない |
| 9 | 高齢、病気等のため参加できない |
| 10 | その他（ ） |

問 1 4 あなたは、地域におけるボランティア活動や地域福祉活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

- | | | | |
|---|-------------------------|----|---|
| 1 | イベントの開催や広報啓発活動 | 7 | 活動しやすい環境づくり（休暇制度など） |
| 2 | 地域での講習会の開催 | 8 | 活動者への何らかの見返り |
| 3 | ボランティア体験等のきっかけづくり | 9 | 特に必要なことはない |
| 4 | 活動の中心となるリーダーづくり | 10 | わからない |
| 5 | 活動の主体となる組織づくり（NPO 法人など） | 11 | その他（ ） |
| 6 | 福祉教育の推進 | | |



地域のネットワークづくりと支えあい活動についておたずねします

問 1 8 あなたの住む地域の中に「あったらいいな」と思う支えあい活動はどんなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 話し相手や相談相手 | 8 通院・通学等の送迎 |
| 2 安否確認の声かけ | 9 子どもへの遊び指導や読み聞かせ |
| 3 買い物の手伝いや代行 | 10 子どもの登下校時の見守り |
| 4 ゴミ出し | 11 災害時の避難支援 |
| 5 外出時の付添い・介助 | 12 特にない |
| 6 そうじ・せんたく・食事等の家事 | 13 その他 () |
| 7 短時間の子どもの預かり | |



知りたい情報や情報の取得方法についておたずねします

問 1 9 あなたは、福祉に関するどのような情報が知りたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 福祉サービスの種類・内容 | 8 高齢者就労に関する情報 |
| 2 福祉サービスの利用手続方法 | 9 障がい者就労情報に関する情報 |
| 3 福祉サービスの利用に関わる費用 | 10 福祉講座や教育・講習会の開催情報 |
| 4 福祉サービスの相談窓口について | 11 個別の福祉施設や事業所の情報 |
| 5 介護保険に関する情報 | 12 福祉ボランティアに関する情報 |
| 6 保育や子育てに関する情報 | 13 健康に関する情報 |
| 7 障がい者自立支援に関する情報 | 14 その他 () |

問 2 0 あなたは、行政福祉サービスに関する情報をどういった方法で取得しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1 県や市の広報誌 | 7 友人・知人 |
| 2 地区の回覧版 | 8 近所の人 |
| 3 新聞・雑誌・テレビ | 9 民生委員・児童委員 |
| 4 インターネットのホームページ | 10 事業所・福祉団体 |
| 5 地域の活動やサークル | 11 その他 () |
| 6 市役所や振興局等の窓口 | |



心配事の解決方法についておたずねします

問 2 1 あなたは、生活する上で日ごろ感じている心配事について、どのようにして解決すべきと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 行政の責任で解決すべき
- 2 まず行政が果たすべき責任を負った上で、行政の行き届かない課題については、地域住民自身も協力していくべき
- 3 地域で起きている問題・課題については、もっと地域住民が関心を持ってお互いに協力し解決していくべきで、地域で解決できないことについては、行政への支援を求めていくべき
- 4 行政や地域よりも、まず本人やその家族たちで解決すべき
- 5 その他 ()



地域ぐるみの防災対策についておたずねします

【災害時避難行動要支援者に対する支援制度】について

佐伯市では、災害が発生した場合に支援が必要な、ひとり暮らしの高齢者や重度障がい者など、「災害時避難行動要支援者」の人を対象とした、「災害時避難行動要支援者名簿」を作成しています。この名簿を、対象者の同意を得た上で、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会などの支援者が共有することで、地域の中で支援できるように取り組みを進めています。

問 2 2 あなたは、前記のような「災害時避難行動要支援者に対する支援制度」を御存じ知でしたか。(○は1つだけ)

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問 2 3 あなたには、災害時に同居家族以外に近所で頼れる人はいますか。(○は1つだけ)

- 1 いる
- 2 いない

問 2 4 あなたが災害発生時に頼りにしている、又は頼りにしたいと思うところ(人)はどこ(誰)ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 市役所 | 6 隣近所の人 |
| 2 社会福祉協議会 | 7 家族・親せき |
| 3 自治会 | 8 民生委員・児童委員 |
| 4 自主防災組織 | 9 頼るつもりはない |
| 5 地域の消防団 | 10 その他 () |

問 2 5 あなたは、災害発生時における支援の必要な人（ひとり暮らしの高齢者や障がい者など）の支援を行うためには、次のどれが良いと思いますか。
（○は1つだけ）

- | |
|--|
| 1 市役所が責任を持って支援を行う |
| 2 民生委員・児童委員が中心となって支援を行う |
| 3 自治会を中心に隣近所の人支援を行う |
| 4 社会福祉協議会が中心となって支援を行う |
| 5 市役所、民生委員・児童委員、自治会、社会福祉協議会などが、新たなネットワークを作り支援を行う |
| 6 わからない |
| 7 その他（) |

問 2 6 災害時に、あなたの家や近所に、ひとりで避難することが困難な人がいた場合、あなたはどのような助け合いや協力ができると思いますか。
（○はいくつでも）

- | | |
|---------------|----------|
| 1 安否確認や声かけ | 6 応急手当 |
| 2 安全な場所への避難誘導 | 7 協力は困難 |
| 3 一時的な保護 | 8 わからない |
| 4 避難等の声かけ | 9 その他（) |
| 5 相談・話し相手 | |

問 2 7 あなたは、災害時に支援が必要な人の支援を頼まれたらどうしますか。
（○はいくつでも）

- | |
|------------------------|
| 1 もちろん引き受ける |
| 2 自分のできる範囲でよければ引き受ける |
| 3 自分の他にも支援する人がいれば引き受ける |
| 4 責任が重いので断る |
| 5 自分や家族のことで精いっぱいなので断る |
| 6 その他（) |

問 2 8 あなたのお住まいの地域では、災害に備えてどのようなことをしていますか。
(○はいくつでも)

- 1 自主防災組織を作るなど、災害が起きた時の役割分担を決めている
- 2 避難訓練を行っている
- 3 高齢者や障がい者など、災害時に特に人の助けを必要とすると思われる、災害時避難行動要支援者（災害弱者）を把握し、台帳を作っている
- 4 避難所、危険個所、支援が必要な人の所在地などをわかりやすく記述した防災マップを作っている
- 5 何もしていない
- 6 わからない
- 7 その他（)



誰にでもやさしいまちづくりについておたずねします

問 2 9 あなたは、今後（または老後）どのように過ごしたいと考えますか。
(○はいくつでも)

- 1 自分の趣味を持ち、のんびり暮らしたい
- 2 できるだけ働きたい
- 3 学習・勉強に取り組みたい
- 4 自分の経験や学習成果を活かし、地域社会に貢献したい
- 5 自治会活動などの地域活動に参加したい
- 6 健康の維持・増進に努めたい
- 7 特に考えていない
- 8 その他（)

問 3 0 あなたは、今後（または老後）の生活に不安を感じていますか。
(○は3つまで)

- 1 住まいの事で不安を感じる
- 2 健康の事で不安を感じる
- 3 収入やローンの返済などの経済面で不安を感じる
- 4 知人・近所との付き合いに不安を感じる
- 5 家族の世話・介護（老老介護など）に不安を感じる
- 6 不安を感じない
- 7 その他（)

問3 1 あなたは、いきいきとした高齢者社会をつくるために、どのような取組が必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 高齢者が体力や能力に応じて働くことができる場を増やすこと
- 2 年金制度などの充実を図ること
- 3 趣味や学習の場や機会を増やすこと
- 4 ボランティアなど社会貢献の場や機会を増やすこと
- 5 医療・介護を充実すること
- 6 生活に関する相談体制を充実すること
- 7 住宅や各種施設のバリアフリー対策を充実すること
- 8 活動に関する様々な情報提供を充実すること
- 9 その他（)

問3 2 住みなれた地域で、私たち一人一人が安心して暮らしていくために、市民としてあなたができることはどんなことがあるとお考えですか。（○はいくつでも）

- 1 地域活動に積極的に参加すること
- 2 できるだけ地域での出来事に関心を持つこと
- 3 子どもの学校での行事など、家族が関わりを持つ範囲内の活動には参加すること
- 4 地域のことよりも、今は自分自身の時間（仕事や学業など）を大切にすること
- 5 ボランティア活動や地域活動に参加すること
- 6 まずは家庭内の問題（コミュニケーション不足など）を解決すること
- 7 地域ことは行政や自治会役員等の仕事であり、自分自身は関係ない
- 8 わからない
- 9 その他（)

問3 3 将来、あなたは、どのような環境で暮らしたいと思いますか。（○は1つだけ）

- 1 住み慣れた地域で、自分の家で暮らしたい
- 2 子どもに帰ってきてもらい、一緒に暮らしたい
- 3 子どもの家へ行って一緒に暮らしたい
- 4 老人ホーム等の施設に入所したい
- 5 その他（)

問34 あなたは、地域社会の中で安心して暮らしていくためにはどのようなことが大切だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 警察・消防などの防犯・交通安全・防災体制の充実
- 2 行政の福祉サービスの充実
- 3 企業によるサービスの充実
- 4 雇用の安定
- 5 地域医療体制の充実
- 6 高齢者、障がい者にも優しいユニバーサルデザインやバリアフリー(※)、のまちづくり
- 7 福祉施設の充実
- 8 保育所や託児所の充実
- 9 学校教育の充実や不登校等の問題の解決
- 10 地域を単位とした親と子の世代間交流活動の充実
- 11 隣近所の助け合いの充実
- 12 自治会や町内会など地域組織の充実
- 13 ボランティア活動やNPOによる助け合いの充実
- 14 乳幼児医療や高齢者の医療費助成等の充実
- 15 その他 ()

(※)ユニバーサルデザイン、バリアフリーとは・・・道路や建物の入り口の段差などを無くすなど、高齢者や障がい者、乳幼児、けが人や病人など誰でも安心して生活できるようにすること。また、その設計(デザイン)。

問35 生活をする上で困っていることや、こんなサービスがあったら便利だと思う事を御記入ください。また、誰もが安心して健康で暮らせるまちづくりを進めていくために、日ごろ皆さんが感じていること・考えていることなどを自由に御記入ください。

質問は以上です。アンケートへの御協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて11月10日(木)までに御投函ください。